

会 議 録

会議名	令和3年度 第1回瀬戸内中讃定住自立圏形成推進委員会
開催日時	令和3年8月12日(水) 15時～15時35分
開催場所	中讃広域行政事務組合事務所2階会議室
出席者	(会長)丸亀市長 松永恭二、(委員)善通寺市長 平岡政典、琴平町長 片岡英樹、多度津町長 丸尾幸雄、まんのう町長 栗田隆義
議 題	(1)令和2年度事業実施状況及び令和3年度事業実施予定について (2)第3次瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョン策定方針、施策体系(案)について
傍聴者	0人
事務局	(事務局)丸亀市 秘書政策課長 窪田徹也、副課長 谷本智子、担当長 宇野大志郎 (関係市町) 多度津町政策観光課長 河田数明 まんのう町企画政策課長 松浦正吾、課長補佐 溝淵浩一
発言者	議事の概要及び発言の要旨
窪田課長	ただいまから、令和3年度第1回定住自立圏形成推進委員会を開会します。 定住自立圏形成推進委員会規約第5条第1項の規定に基づきまして、会長に議事進行をお願いします。
会長(丸亀市長)	それでは、私の方で議事進行をさせていただきます。 まず、議事(1)「令和2年度事業実施状況及び令和3年度事業実施予定」について、事務局より説明をお願いします。
宇野	(資料に基づき説明)
会長(丸亀市長)	ただいまの説明に対し、ご質問等はございますか。
多度津町長	以前、圏域の取組として就職面接会を実施していましたが、その時は介護や医療関係の求人ばかりが多く、メリットが少ないため中止した記憶があります。現在の社会情勢からしましても、県外へ出て行った30代から40代の方たちを呼び戻すための受け皿として、あらためて検討できないでしょうか。
窪田課長	就職面接会についてはそうした経緯などもありまして、圏域として現在実施しておりませんが、就職を見据えた取組は必要です。就職面接会を中止した後、丸亀市では独自の取組として産業教育という事業に取り組んでいます。中学2年生を対象に、地元企業に協力いただきながら、就職面接会と同じようなスタイルで地域の企業について学んでもらう取組です。後の議題でも説明させていただきますが、この取組を圏域として行うことについて次期ビジョンで位置付けていきたいと考えています。30代から40代にかけてのUターンに対する雇用対策については、引き続き担当の方で協議してまいりたいと思います。

宇野	圏域としての取組ではありませんが、社会増を目指す取組として、東京圏からのU J I ターン補助金や県外からの移住者への家賃補助を、県下の市町が足並みを揃えて実施しています。
多度津町長	そうした取組も良いのですが、Uターンにつなげるために、もっとやるべきことがあるのではないかと思います。
会長（丸亀市長）	他にご意見がないようであれば、1点目の議題については承認してよろしいでしょうか。 (異議なし)
会長（丸亀市長）	それでは、続きまして、議事の（2）「第3次瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョン策定方針、施策体系（案）」について、事務局より説明をお願いします。
宇野	(資料に基づき説明)
会長（丸亀市長）	ただいまの説明に対し、ご質問等はございますか。
琴平町長	現行ビジョンの5年前からは世の中も随分と変わり、SDG s やデジタル化などが重視されている視点が反映されていると思います。 私どものまちは規模が小さく、生活圏が近いことも考えますと、圏域の施設であれば同じ条件で利用できるような、互いによく活用できるような視点があれば良いと思います。 高校との連携に関する取組ですが、最近は公立高校に生徒が集まらなくなっており、大変厳しい状況です。各市町で協力し、高校の魅力化に取り組んでいく必要があると思います。 広域観光の面では、体験型観光をうまく取り入れて欲しいと思います。例えば、まんのう町の山でタケノコを掘るのも人気があり、各市町の体験型の取組を集約して、エージェントに売り込むなどのPRが必要だと思います。丸亀市の住みます芸人についても、圏域として活用できるようであれば検討して欲しいと思います。
会長（丸亀市長）	他にご意見がないようでしたら、2点目の議題について承認してよろしいでしょうか。 (異議なし)
会長（丸亀市長）	本日の議事は全て終了いたしました。 他にご意見がないようでしたら、以上で本日の会議を終了します。 ご審議ありがとうございました。

(会議終了)